

## 4月13日朝会講話 ～4月11日は開校記念日でした～

新学期が始まって、2週目になります。

それぞれの学年では学年集会が行われ、先生方と皆さんと共通の目標を立ててスタートを切ることができました。

さて、4月11日（土）は、高井戸第四小学校の開校記念日でした。今年で高四小は、87周年を迎えます。ですので、今の4年生が6年生になる時には、90周年という節目の時を迎えることになります。

今日は、高四小の歴史について紹介したいと思います。

高四小は、昭和14（1939）年4月1日、杉並区大宮前6丁目にできました。開校当時の全校児童数は、877名で学級数は16学級、今の倍の人数が教室にいたということになります。

昭和19（1944）年4月5日に給食が始まりました。その後、戦争が激しくなり、校庭に爆弾が落ちたり、子供たちの安全を守るために、遠くへ避難したりすることが2回もありました。そんな中でも、「教育所」という場所を作って授業を始めたそうです。みんなが集まって勉強する。今は、当たり前なのが大変なときでした。

そして、昭和20（1945）年の秋に校歌ができました。戦争という大変な中でも過ごしてきた高四小の歴史を知ると、校歌にある「そびえるわが校 高井戸第四」「こころのふるさと 高井戸第四」「とうといわが校 高井戸第四」という言葉に、校歌に込められた学校への強い誇りを感じることができます。

明日は、1年生を迎える会があります。友達の輪を広げるとともに、いい学級、いい学年を自分たちで作り上げていく、そんな決意を新たにして86年目の歴史をつくっていきたいと思います。